

# 特集 没後75年 今、読み直したい「宮沢賢治」

8



インタビュー  
**北村 薫**

賢治作品で見つける  
今の自分

14



インタビュー  
**大林宣彦**

「競い合って高め合う」のではなく、  
「許し合って深め合う」世界

## 作品ガイド 6つの時代の「詩と童話」30

澤口たまみ

- 25 ① 盛岡と短歌 — 学生時代（二十一歳〜二十四歳）  
28 ② 上京と信仰 — 法華文学執筆時代（二十四歳〜二十五歳）  
34 ③ 恋と妹の死 — 修羅の時代（二十五歳〜二十六歳）  
40 ④ 花巻と樺太 — 農学校教師時代（二十七歳〜二十九歳）  
46 ⑤ 土壌と労働 — 羅須地人協会時代（三十歳〜三十二歳）  
52 ⑥ 病と推敲 — 疾中時代（三十二歳〜三十七歳）



## 人物コラム

松田十刻

- 27 ① 啄木の詠んだバルコンに立つ — 32 ② 法華経信仰から童話を執筆  
39 ③ 「春と修羅」に詠まれた恋 — 44 ④ オホーツクからの旅立ち  
50 ⑤ 「羅須地人協会」を創立 — 58 ⑥ 死後、国民的作家へ

60 **大野隆司さんの版画で楽しむ「賢治の世界」**

128

## 新連載小説

激動の幕末、陰で活躍する侍と外国人を描く、歴史ミステリー小説！

## 加治将一

## 闇の維新

① 暗闇

## 連載小説

236 山本 弘

コンタクト 去年はいい年になるだろう②

「カイラ2-1」と名乗る「ガーディアン」が、僕の仕事場に来てきた。

284 あさのあつこ

## 菖蒲長屋(3)

よつせいきんむすめものがたり

◎ ガールズストーリー③

直介の背後にとりついた女の正体を知りたいおいちが、鶴野屋へ向かう。

490 加藤実秋

## 六十三点だな

Are you Teddy?⑤

スーパ―の商品で「全身揃える人」って、マジで超ありえないんですけど。

456 中村彰彦

## 熊を撃ちに 花ならば花咲かん⑥

勝保武蔵と再会した小三郎は、二人で熊を撃ちに行く約束をして……。

316 鍋木 蓮

## 少女椿のゆめ

その四 思い出探偵・実相浩二郎(終)

捜し続けた小網利重の居場所をついに突き止めた浩二郎は、青森へ飛ぶ。

396 火坂雅志

## お茶々 その四 鬼神の如く⑫

今井宗久は、松平家康の三河岡崎城へ挨拶にゆくことを左近に告げた。

376 原田マハ

## 魔法使いの涙 インディペンデンス・デイ⑫

作品をいとおしむ心は、あなたが、まだ見ぬ作り手たちの大きな力になる。

528 山本一力

## 焼津節 その二十八 猋残屋佐吉御用帖⑳

徳蔵の夜鷹狩りの現場を押さえない利三は、闇に潜んで機会を窺う。

516 川上健一

## 鈴木誠のぼんやり 9人の人類㉔

スコアブックマニアの鈴木誠が、試合中にぼんやり。どうしちゃったの？

544 高橋克彦

## 風流れ 風の陣「裂心篇」㉑

反乱の首謀者は針馬と針羽だった。それを聞き、衝撃を受けた鮮麻呂は……。

172

## 鯨統一郎

## 羽子板市

## 連作読みきり小説

## 鬼姫捕り物控え⑥

林屋のアザミの姿が見えなくなった。許婚にも会っていないようだが……。

連載ノンフィクション

406 平山 讓 還暦からのプレーボールへ〜 逆風アゲインストの人々 ⑥



話題の著者に聞く

日明 恩 『ギフト』

自分の気持ちだけで

どうにでもできることに気づいてほしい

連載エッセイ

62 清水義範 『平家物語』と『太平記』 パロディだらけの日本文学 ④

84 熊谷達也 明かりの問題 日本人の貌かお ⑤

100 鹿島 茂 心のなかの街角 『失われた時を求めて』を完読する ⑨

118 玄侑宗久 背に腹はかえられぬ／粋すいが身を食う 禅の「いろは」 ⑭

424 小阪裕司 そしてわれわれの社会は融合する  
バルバロッサな人(終)  
〈学術研究から学べる仕事と人生のヒント〉

440 森永卓郎 続・母の「覚悟」 森永卓郎の男の幸福論(終)

570 文蔵バックナンバー紹介

575 文蔵年間購読のご案内